

令和3年度 林業普及週間現地情報 (12/20～12/24)

森林管理課

商業店舗と連携した宮古島産材のPRについて②

12月21日(火)

令和3年11月の林業普及週間現地情報で、宮古島産材の普及プロモーションとして、「商業店舗と連携した宮古島産材のPRについて」と題して活動報告したところであるが、その続報を次のとおり報告したい。

令和3年12月10日に那覇市の商業施設内に新たに開店した商業店舗において、内装の一部に宮古島産イヌマキ間伐材が利用されている。そのPRとして、①宮古島産材で製作した「宮古島産イヌマキ間伐材」と明示された看板設置、②宮古島のイヌマキ利用の取り組みを紹介したポスター設置、③宮古島の森林・林業を紹介したリーフレット設置、を行った。①については、島内木工事業者に協力を得て、縦150mm×横500mm×厚み15mmの寸法で、島産材では珍しい突き板を利用して作成した。②、③については林業普及指導員で案を作成し、店舗担当に設置していただいた。(設置レイアウトは店舗担当による)

オープン後の様子については、写真のとおりである。イヌマキ間伐材は木の温かみを感じられる雰囲気があり、触れて感触を確かめている利用客がいた。足を止めてポスターをみている利用客もいた。また、リーフレットについては、オープンから1週間後に視察した際には、すべてはけていた(随時補充いただく予定)。店舗店長に話を聞いたところ、休憩スペースのそばということもあり、利用客からは非常に好評をいただいているとのことだった。

宮古島の森林・林業・木材産業については、まだまだ県民に認知されていない部分があり、大きな課題である。今回のPRのような事例を増やし、県民に発信していくことは重要である。林業普及指導員としては、関係者と協力して、これらの取り組みに邁進していきたいと考える。



イヌマキ間伐材利用状況①



イヌマキ間伐材利用状況②



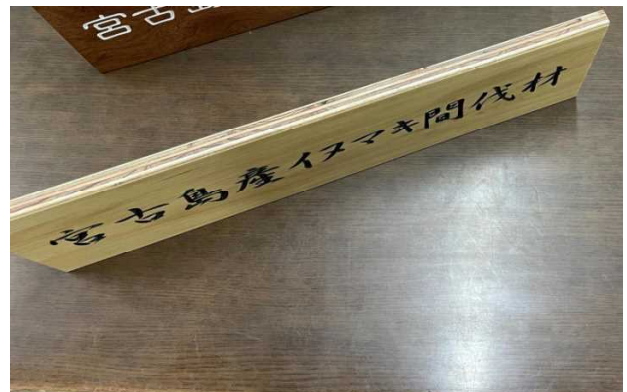
イヌマキ間伐材利用状況③



ポスター設置状況



看板・リーフレット設置状況



イヌマキ突き板看板

(報告者：宮古農林水産振興センター 古井)